

「住まいづくりの新ルール」

住み手と考えるこれからの住宅



家族の形態が変わり、生活の形態が変わり、身体の機能が変わる。

家がいろいろな変化に対応出来るように、

必要になったときに必要な変更が出来るように、

建てる時からずっと住み続けることを考えた住宅。

今回のセミナーは住み手と作り手をお招きし、

インタビューと対話を通して、そんな考えの中で建てられた家を、
これからの高齢社会における住宅の可能性として考えていきます。

高齢社会の住まいをつくる会（高住会）は、住まいの持つ力を「対応力」「包容力」「支援力」
の三つの力と考え、その力を引き出し設計に活かす試みをしています。

今回の住宅の設計は小冊子『住まいづくりの新ルール』の編集と並行して進められ、
「住み続けられる家」という考え方を取り入れた最初の住宅です。

2014年6月7日(土) 14:00~17:00

開場 13:30

コーディネーター：高住会理事長 吉田紗栄子（一級建築士）
数多くのバリアフリー住宅の設計経験を生かした住宅相談を行っている。
今回の「住み手」との出会いのきっかけとなった
『バリアフリー住いをつくる物語』などバリアフリー関連の著書も多い。

ゲストスピーカー

住み手：

(夫) 大学卒業後、医学系の出版社に
40年余り勤務。1年半前に退職。
「出来るだけ自立した老後を送りたい」
と、在勤中からバリアフリー住宅にご
関心を持たれる。

趣味は合気道（稽古歴は27年）
足腰の老化防止をめざして、妻の発案
で月一回の山歩きを励行している。

(妻) 音楽大学卒業後、音楽教室を開
きながら、子供（娘）3人を育てる。
趣味はパステル画を描くことと、海外
旅行（スタートは子育て終了後の50
歳から）。

最近では夫と共に心がけて「歩く」こと
を励行している。

作り手：

一級建築士事務所

BASSTRONAUTICS
ADMINISTRARION

早稲田大学理工学部建築学科石山修武
研究室出身の二人。

「車椅子の為の空間」をデザインの視点
から設計に取り入れている。

会場

東中野「テラハウス」講義室

東京都中野区東中野 4-2-3

- JR中央線・JR総武線・都営地下鉄大江戸線「東中野駅」東口下車駅前
- 東京メトロ東西線「落合駅」下車徒歩10分

定員：30名（先着受付）

参加費：一般3,000円（高住会会員/学生2,000円）当日支払

受付方法

※6月1日までにEメールまたはFAXでお申込みください。

s-uketsuke@kourei-sumai.com

FAX 03-3996-5406

本セミナーはCPD(建築士会継続能力開発)制度による単位認定を受ける予定です。
対象の方は、当日の受付時にCPD番号(または建築士番号・施工管理技士番号)をお知らせください。
『住まいづくりの新ルール』は会場にて300円で販売します。

↓FAXでのお申し込みにご利用下さい↓高住会事務局 宛

お名前（ふりがな）

ご所属 [高住会会員 学生 一般] ○印をお付けください

TEL/FAX

E-mail

主催/バリアフリー住宅設計実務者ネット・NPO法人 高齢社会の住まいをつくる会

〒177-0033 東京都練馬区高野台 3-36-15-505

<http://www.kourei-sumai.com>

